

NEWSLETTER No.89 ISSN 1340-5578

**TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ**  
The Society for Research in Asiatic Music September 25, 2013

一般社団法人 **東洋音楽学会** 会報 第89号

発行 一般社団法人東洋音楽学会  
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

## 目次

第2回定時社員総会のお知らせ…………… 1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ…………… 3
総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出の お願い…………… 1	東日本支部からのお知らせ…………… 5
第64回大会のご案内…………… 2	会員異動…………… 5
第31回田邊尚雄賞アンケートのお願い…………… 3	図書・資料等の受贈…………… 5
会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど…………… 3	新刊書籍…………… 5
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ…………… 3	新発売視聴覚資料…………… 6
	編集後記…………… 6

## 第2回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位  
一般社団法人東洋音楽学会 会長 薦田治子

### 第2回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第2回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席ください。

記

日時 2013年11月9日(土) 16時40分～17時40分  
場所 静岡文化芸術大学講堂

### 審議事項

- 第1号議案 2012年度事業報告の件
- 第2号議案 2012年度収支決算の件
- 第3号議案 2013年8月31日貸借対照表および正味財産増減計算書の件
- 第4号議案 2013年8月31日現在会員異動状況の件
- 第5号議案 その他

### 報告事項

- ・2013年度事業計画の件
- ・2013年度収支予算の件
- ・その他

・総会に出席できない正会員の方には、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をご熟読ください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

## 総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員のみなさん、一般社団法人への移行に伴い、総会の成立には正会員の過半数の出席が必要となりました。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。総会成立のため、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月中旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月中旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決書行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けてある（会員名簿に掲載の）アドレスです。変更した方は必ずお知らせください。

インターネットを使わない正会員には、10月末までに郵送で議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

電子メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムといっしょに届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

第 64 回大会のご案内

東洋音楽学会第 64 回大会を、同封のプログラムの通り、静岡文化芸術大学において開催いたします。

第 1 日(11 月 9 日)の午前には、浜松市楽器博物館の見学会を企画しました。嶋和彦館長のお話も含め、約 1 時間半を予定しております。なおこの見学会は、浜松市楽器博物館のご協力によって、入館料は無料となっております。午後には公開講演会を行います。本年度は、講演を二題、西岡信雄氏による「楽器博物館が担う「国際」と「学際」」、竹内明彦氏による「浜松周辺の邦楽文化——浜松まつり他について」を予定しております。また後半は、遠州大念仏（浜松市無形民俗文化財）を、遠州大念仏保存会早出組の方々に演じていただきます。

第 2 日(11 月 10 日)には 3 会場において、多分野にわたる計 23 本の研究発表、パネルディスカッション等が行われます。

大会期間中には、大会参加の会員の方については浜松市楽器博物館に無料で入場できます。大学からは徒歩圏内ですので、是非ともお寄りいただきたく存じます。

◎出欠の回答

同封の返信はがきの各欄にもれなくご記入の上、10 月 21 日(月) 必着でご返送ください。やむを得ず総会に出席できない方は、返信はがきの下欄の総会議案書に対する意思表示の方法（メールまたははがき）を選択記入してください。

◎大会参加費、懇親会費、昼食代の納入

必ず同封の払込用紙にて、10 月 31 日(木) までにご入金ください。この日までに納入された方には、大会参加費の事前申し込みが適用されますので、早めのご入金をお勧めいたします。なおそれ以降のお振込みは一般当日申し込みの金額になります。振込みの金額は次の通りです。

大会参加費

一般事前申し込み 2,000 円

一般当日申し込み 3,000 円（11 月 1 日以降の振込、当日の受付での支払に適用）

学生（大学院生を除く） 事前申し込み 1,000 円

学生（大学院生を除く） 当日申し込み 1,500 円

非会員（一般） 第 1 日公開講演会のみ参加は無料、両日参加、あるいは第 2 日のみ参加の場合、いずれも 3,000 円

非会員（学生、ただし大学院生を除く） 第 1 日公開講演会のみ参加は無料、両日参加、あるいは第 2 日のみ参加の場合、いずれも 1,500 円

懇親会費 一般 4,000 円

学生（ただし大学院生を除く） 2,000 円

第 2 日の昼食代（お弁当とお茶） 800 円

\*同封の払込用紙は大会専用のもので、学会費の納入にはお使いにならないようにお願いします。

\*期日を過ぎてご入金された方は、必ず受領証をお持ちになり、受付にてご提示ください。

\*大会第 2 日の昼食のお弁当（お茶つき）は、期日までに返信はがきにて注文の上、払込用紙にて代金をお支払いいただいた方のみご用意します。予約のない方への販売は行いませんのであらかじめご了承ください。なお会場近くにはコンビニやファミリーレストランもございますので、そちらもご利用になれます。

\*大会実行委員会では宿泊所の斡旋は行いません。

\*プログラムの再配布はありませんので、当日は、同封のプログラムを忘れずにご持参ください。

\*本年度は浜松コンベンション開催助成金を申請している関係上、受付の際、宿泊のホテルと宿泊日数をお尋ねいたします。ご協力ください。

## 第 31 回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

第 31 回 田邊尚雄賞選考委員会では、同賞の選考にあたり、推薦情報を募集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、皆さまからの積極的なアンケート送付をお願いいたします。自薦他薦は問いません。

選考対象：2013 (平成 25) 年 1 月 1 日～12 月 31 日の発行物。  
アンケート締切：2014 (平成 26) 年 2 月上旬 (予定)  
記入事項：著者名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。

送り先：東洋音楽学会第 31 回 田邊尚雄賞選考委員会  
(郵送) 〒110-0005  
東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号  
(FAX) 03-3832-5152  
(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員：金城厚、酒井正子、野川美穂子、福岡まどか、横井雅子

## 会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど

### 1. 会費納入のお願い

2012 年 9 月から新しい年度が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払い込みくださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込みください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員： 8,000 円  
学生会員 (大学院生を除く)、および割引申請者： 6,000 円

○ 郵便局からの払込  
ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723  
[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○ 他金融機関からの振込  
ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九 (ゼロイチキョウ) 店 (019)  
[当座] 0055723

### 2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページでご確認の上、お申し込みください。

### 3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利 (研究会・大会での発表、学会の発行物の受取) が行使できないことがありますのでご注意ください。

### 4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』79 号 (2014 年 8 月刊行予定) の原稿を募集します。投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載されている「投稿規定」および、学会ホームページに掲載されている「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。なお、投稿原稿中で使用する図版、楽譜等の使用許諾等の処理は、すべて投稿者が行って下さい。また、論文、研究ノート等は発刊後、いずれかの時期にネット上に公開されますので、そのことをお含みおきの上、許諾等の処理をしていただくよう、お願いいたします。

送付先：〒110-0005  
東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号  
一般社団法人 東洋音楽学会事務所内  
東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送すること。  
ただし、書留郵便にはしないこと。直接持参、メール添付は受け付けません。

締め切り：2013 年 12 月 13 日 (金) 必着

## ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

### 1. 第 42 回 ICTM 世界大会 (於：上海) の報告

去る 2013 年 7 月 11 日～18 日、中国の上海音楽学院にて第 42 回 ICTM 世界大会が行われました。現在 ICTM 会員は世界 85 ヶ国におよび、その数約 980 名です。今回の大会では、58 ヶ国から参加者が集まり、400 以上の研究発表が行われました。14 日 (日) の遠足の日の除く 6 日間、6 つから多いときには 10 の同時進行セッション／ラウンドテーブルが、午前・午後 2 つずつ設けられました。ただし、各日とも plenary session と呼ばれる同時進行なしの単独セッションが必ず一つ設けられており、計 6 つの plenary sessions が行

われました。この 6 つの単独セッションは、それぞれ今年の 6 つの学会テーマに対応しており、それが今年のプログラム構成の特徴的なところでした。ちなみに 6 つの学会テーマとは、1) Presentation and Representation in Minority Musics and Dance, 2) Rethinking, Reconstruction, and Reinventing Musical Pasts, 3) Ethnomusicology, Ethnochoreology, and Education, 4) Ritual, Religion and the Performing Arts, 5) Screening Music and Dance, 6) New Research でした。全体における日本人研究者 (海外在住含む) の発表は 16 本、また日本在住の外国人研究者による発表も 3 本あり、日本人および日本からの参加が回を重ねるごとに増加している印象を受けました。

様々な研究発表に加え、夜は連日コンサートが催されました。中国楽器による新旧交えた独奏曲・合奏曲、京劇・昆劇からの抜粋、蘇州の語り物音楽である評弾、雲南省の少数民族の芸能、さらに、East Asian Night と題されたコンサートでは、日本の津軽三味線、韓国のコムンゴとアジェンによる散調 (サンジョウ)、ベトナムの室内楽の一種である歌籌 (カ・チュウ)、そしてこの大会のために上海音楽学院作曲科主任の叶国輝氏に委嘱された交響楽作品が披露されました。

今回の大会ではさらに、ICTM の理事長、副理事長、そして三名の理事の選挙結果が発表されました。初めて電子メールによる投票が導入された今回の投票で選出されたのは、以下の方々です (敬称略)。理事長 Salwa El-SHAWAN CASTELO-BRANCO (ポルトガル、前副理事長)、副理事長 Don NILES (バプアニューギニア、前理事)、理事: 1) XIAO Mei (中国、再選)、2) Jonathan STOCK (英国)、3) 寺田吉孝 (日本)。日本人が理事に加わるのは、柘植元一氏、塚田健一氏以来のことです。この選挙をもって退任を迎えられたのは、2 期 (8 年間) にわたり理事長を務められた Adrienne Kaepler 氏 (合衆国)、そして理事の Ursula HEMETEK 氏 (オーストリア) と Timothy RICE 氏 (合衆国) です。なお新理事会の全メンバーは <http://www.ictmusic.org/authorities> にてご覧になれます。

理事会メンバーの変更とともに、ICTM の機関誌、Yearbook for Traditional Music の編集スタッフも一部変更されました。編集長には、これまで 8 年間お役目を務めてきた Don Niles 氏に代わり、留任理事の一人である Kati SZEGO 氏 (カナダ) が、そして Film/Video Reviews の編集者には、新理事に選出された寺田吉孝氏が就任しました。なお、Yearbook for Traditional Music は世界大会が開催された年には、ゲスト編集者を迎え、学会発表にもとづく論文を募集します。今年のゲスト編集者は、今回の大会でプログラム委員長を務めた Larry WITZLEBEN 氏 (合衆国) です。投稿締め切りは、2013 年 12 月 31 日です。投稿の詳細に

ついては、

<http://www.ictmusic.org/publications/yearbook-for-traditional-music/submissions> をご覧ください。

## 2. 第 43 回 ICTM 世界大会のお知らせ

場所: カザフ国立芸術大学 (カザフスタン、アスタナ)

日程: 未定 (2013 年 10 月発行の Bulletin で発表される予定)

プログラム委員長は、現在ケンブリッジ大学の中央アジア音楽センターでディレクターを務める Razia SULTANOVA 氏です。大会のメインテーマとして music and national identity が掲げられました。その他のテーマは、上海大会で参加者から募った提案をもとに、これから選定されます。ICTM の世界大会が中央アジアで開催されるのは初めてのことです。上海大会の閉会式では、デモンストレーション・ビデオにより、カザフスタンの多様な音楽文化と豊かな自然、近代的な首都アスタナの様子などが紹介されました。カザフスタンの音楽家の弦楽器伴奏による歌も披露され、参加者の次回大会への期待を大きく膨らませました。

## 3. 第 4 回 ICTM 東アジア音楽研究会シンポジウム、日本開催のお知らせ

場所: 奈良教育大学

日程: 2014 年 8 月 21 日 (木) ~ 23 日 (土)

大会実行委員長: 寺内直子・劉 麟王

プログラム委員長: マット・ギラン

発表要旨提出期限: 2013 年 12 月 20 日

提出先: [ictmmea2014abstracts@gmail.com](mailto:ictmmea2014abstracts@gmail.com)

\* 発表にあたっては、ICTM 会員であることが条件になります。

大会テーマ

- 1) East Asian musics from a cross-cultural perspective
- 2) Music in digital culture/mass media
- 3) Music and ritual
- 4) Restoration and reconstruction of musical traditions
- 5) Music and gender
- 6) New research

## 4. 第 8 回 ICTM 音楽とマイノリティー研究会シンポジウム、日本開催のお知らせ

場所: 国立民族学博物館

日程: 2014 年 7 月 19 日 (金) ~ 23 日 (水)

## 会員異動

大会実行委員長：寺田吉孝

プログラム委員長：未定

\*上記、日本開催の研究会については、詳細が決まり次第、一斉メール (下記参照)、会報等でお知らせいたします。

### 5. ICTM 担当委員からのお願いとお知らせ

#### 1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の中の ICTM 会員に対して、担当委員 (早稲田みな子: minako.waseda@gmail.com) より不定期に ICTM に関連するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在 ICTM 会員でない方で、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員までお知らせください。

#### 2) ICTM の入会申し込みについて

ICTM の世界大会やスタディ・グループのシンポジウムで研究発表を行うには、ICTM 会員であることが条件になります。入会を希望される方は、下記ウェブサイトより入会申し込みができます。会費 (年間 60 ユーロ) の納入には PayPal が利用できます。ご不明な点がございましたら、担当委員までご連絡ください。

<http://www.ictmusic.org/membership/new>

## 東日本支部からのお知らせ

東日本支部では、2014 年 2 月 1 日の定例研究会での研究発表を募集しております。

発表を希望される方は、発表種別 (研究発表・報告等)、発表題目、要旨 (800 字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先 (住所、電話、Fax、E-mail) を明記の上、11 月 20 日までに、下記の東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望を提出後 1 週間経ても東日本支部事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号  
東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

## 図書・資料等の受贈

(2013年5月～7月、到着順)

『山歌の民族誌—歌で詞藻(ことば)を交わす』(DVD付)

梶丸岳著 京都大学学術出版会

『アイヌ民族文化研究センターだより』No.38

『アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—2013・冬  
網走/オホーツク』(企画展パンフレット)

『研究紀要』第 19 号

北海道立アイヌ民族文化研究センター

『楽道』5, 6, 7月号

正派邦楽会

『演劇映像』第 54 号

早稲田大学演劇映像学会

『民俗芸能研究』第 54 号

民俗芸能学会

『近代仏教教団とご詠歌』

新堀歓乃著 勉誠出版

『雅楽だより』第34号

雅楽協議会

『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2012 年度「常磐  
津節演奏者名鑑 第 2 巻」(近世 2 : 創流期から幕末期までの  
三味線方)』

竹内有一編著 常磐津節保存会

『映画で知る美空ひばりとその時代—銀幕の女王が伝える昭和の音楽文化』

斎藤完著 スタイルノート

## 新刊書籍

『アメリカン・ルーツ・ミュージック : ディスクでたどるアメリカ音楽史』  
奥和宏、アルテス、1,785 円

- 『アルゼンチン音楽手帖』  
栗本斉、DU BOOKS、2,100 円
- 『ウルトラセブンが「音楽」を教えてくれた』  
青山通、アルテス、1,680 円
- 『映画で知る美空ひばりとその時代：銀幕の女王が伝える昭和の音楽文化』  
斎藤完、スタイルノート、2,100 円
- 『音楽のカロロジー：哲学的思索としての音楽美学』  
今道友信、ピナケス出版、3,990 円
- 『音楽の起源 (上)』  
ウォーリン／ブラウン／マーカー、人間と歴史社、4,410 円
- 『音楽をひらく：アート・ケア・文化のトリロジー』  
中村美亜、水声社、3,150 円
- 『世阿弥の言葉』  
土屋恵一郎、岩波書店、1,008 円
- 『世界フリージャズ記』  
副島輝人、青土社、2,730 円
- 『中世歌書集』  
大取一馬編、思文閣、13,965 円
- 『聴覚のイコノグラフィア』  
出／佐々木／吉住／新保／大野、ありな書房、4,725 円
- 『七十一年目の「第九交響曲」』  
木村伸夫、鳥影社、1,570 円
- 『ニュー・ミュージコロジー：音楽作品を「読む」批評理論』  
カーマン／タラスキン／ナティエ、慶応義塾大学出版会、  
3,360 円
- 『能楽からみた中世』  
脇田晴子、東京大学出版会、6,090 円
- 『林光の歌』  
全音楽譜出版社、5,040 円
- 『林光の器楽』  
全音楽譜出版社、5,460 円
- 『ヒップホップ！：黒い断層と 21 世紀』  
関口義人、青弓社、2,100 円
- 『ビートルズは音楽を超える』  
武藤浩史、平凡社新書、819 円
- 『文楽の歴史』  
倉田喜弘、岩波書店、1,302 円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●CD

- 『実況録音盤 秋田竿灯まつり』 COCJ-38135、2,000 円
- 『正派創始百周年記念盤 箏・三弦 古典／現代名曲集  
(二十四)』 VZCG-8503～8504、5,250 円
- 『日本の盆踊り』 COCJ-38064、2,000 円

### ●DVD

- 『沖縄祖国復帰 40 周年記念：第 57 回沖縄全島エイサーまつり 第一巻』 COBA-6449、2,940 円
- 『沖縄祖国復帰 40 周年記念：第 57 回沖縄全島エイサーまつり 第二巻』 COBA-6450、2,940 円

- 『沖縄祖国復帰 40 周年記念：第 57 回沖縄全島エイサーまつり 第三巻』 COBA-6451、2,940 円

## 編集後記

会報第 89 号をお届けします。例年同様、大会プログラム、出欠はがき、振替用紙を同封しています。どうぞご確認ください。大会はもちろんのこと、年 1 度の総会の成立にもどうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、東洋音楽学会が国内委員会を務める ICTM から、今夏の世界大会の報告と、来夏日本で開催される二つのシンポジウムのご案内が届いています。よくご覧ください。

夏場に大会に向けて取り組んださまざまな仕事の成果を、11 月の浜松でみなさまと共有するのが楽しみです。

(塚原康子)

### 会報編集委員会

理事：加藤富美子、塚原康子

参事：大久保真利子、荻野珠、角優希、橋本かおる、  
松本民菜、山口かおり